

## 社会経済情勢の変化に対応した持続可能な行財政の実現に向けて 「持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会」を設置

長岡市は、近年地方交付税等の減少により収入が大きく減少し、財政運営は厳しさを増しており、さらに今年度も収入が前年度に比べて減少する見込みです。

実質公債費比率などの指標からみれば、財政状況はまだ健全ですが、さらに今後も人口減少や高齢化を背景に、こうした厳しい傾向に拍車がかかると予想されます。

そこで、このたび将来にわたって市民の安全・安心を守りつつ、新たな行政需要への対応や未来への投資ができるよう、経営などの専門家や学識経験者からなる有識者懇談会を設置し「持続可能な行財政のあり方」について本格的な検討をスタートします。

### 持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会

#### (1) メンバー

鯉江 康正 (座長)	長岡大学 副学長・教授
海津 博之	第四北越フィナンシャルグループ(株)北越銀行専務取締役、 長岡商工会議所副会頭
高橋 亨	(株)BELLSOFT 代表取締役、長岡アイティ事業協同組合理事長
並木 純子	あすか中央税理士法人 税理士・行政書士
長谷川雪子	新潟大学経済学部 准教授

#### (2) 第1回懇談会

- ①日 時 11月20日(水) 午後1時30分～3時
- ②会 場 アオーレ長岡東棟4階 大会議室(長岡市大手通1-4-10)
- ③内 容
  - ・市長あいさつ
  - ・検討の視点やテーマについて
  - ・長岡市の現状について
  - ・意見交換

### (3) 検討の視点やテーマ (想定)

#### 《視点》

- 生産性・効率性の高い行政運営
- 将来人口に見合った行政経営体の構築
- 多様で安定的な財源の確保
- 社会経済情勢や時代ニーズの変化への対応
- 民間事業者・市民のノウハウや技術等の活用

#### 《テーマ》

- 目指すべき行財政運営の姿 (新しい価値の創造)
- 新しい技術や発想による生産性・効率性の向上
- 組織・定員、外郭団体
- 公共施設
- 投資事業
- 使用料・手数料
- 補助金ほか

### (4) 今後のスケジュール

令和2年度末までに懇談会を計10回程度開催し、有識者懇談会の意見を踏まえながら、令和3年3月を目途に「持続可能な行財政運営プラン」をまとめる予定

〔問い合わせ：総務部行政管理課 電話0258-39-2208〕